

令和六年

松香 Komunikado

令和六年十一月度 月次祭 ごあいさつ

分苑長 山本 健

Saluton al ĉiuj

只今は、十一月度の月次祭を、さすがしく斎行させて頂き、誠に有難く思います。ご参拝並びにご奉仕くださいました皆様方、又オンライン参拝並びにお玉串をお送りくださりました方々に、御礼申し上げます。

朝晩は少し肌寒くなり、寒暖差も大きくなっておりますので、体調管理には十分ご注意ください。

さて、十月十八日には、三重県の香良洲神社で、祈念碑の除幕式があり、四百五十名が参列されました。

教主様は、「香良洲神社様との長年の友好のあかしとして、立派な祈念碑が建ち、綾機神社の御造営という大き

十一月十日発行

第三百二十号

大本松香分苑

豊橋市南牛川二・三・二〇

電話 ファックス

〇五三二一・六三二・二一七三

発行責任者 山本 健

な御用を控えている中、今回沢山の御神徳を頂きました。稚姫君の命様の社殿の完成に向けて宜しくお祈いします」と開祖大祭のご挨拶の始めに、仰られました。

十一月三日の開祖大祭には、台湾道院より四十九名、岐阜道院より二十五名、多摩道院より五名が参拝されました。

開祖大祭での教主様ご挨拶の最後には、

「これからは、嘘・偽り・ごまかしの通じない世の中となり、人の精神の立て替え立て直し、「心の岩戸開き」の時代ですので、自分自身も人も同じように、大切に敬い慈しみ、依存から自立へ自分自身の目で見て考え実践

し、誰のせいにすることもなく、自らを省み執着心を捨てさっぱりとした気持ちで、自分も人も笑顔で許せるような寛容さを持って、その心の中に争いの種を創らないことが大切だと思います。そして日々の祈りの中で日常のどのような些細なことの中にも、幸せを見つけて感謝をささげ穏やかな温かい人間関係を互いに結んで、心豊かに暮らしていくことがみろくの世の住人となる近道ではないかと思っています。『一人一人が心の岩戸を開きつつ愛善世界のひかりとならむ』と具体的に、お示しくださいました。

このお言葉に従って、努力させていたただきたく思います。

又開祖大祭翌日の十一月四日には、「聖師さまご神霊」道院祭典が行われ、午後には、フーチが行われました、百七十名ほどの方が、書畫壇を受けられて、それぞれ説明を受けていました。健康や事業、信仰等いろいろな分野について現状と今後気をつけることなど、それぞれ大神様からのメッセージを受けることができました。最初に全体に対する訓示があり、その後、各人の申し込みに合わせて、一人当たり一分程度で、午後一時半から六時頃まで、ほぼ休憩なしで行われました。皆様も一度は書畫壇を受けられることをお勧めします。

ご報告、おからすの祈念碑除幕式の日、内事の浅井様より、教主様から病氣御祈願の御礼の玉串を、分苑に頂戴いたしました。十一月の月次祭にお供えさせていただきます。

最後に、十二月の月次祭のおり、教主様、京太郎先生にお歳暮をお届けの予定ですので、有志の皆様、ご協力お願い致します。

又、人型活動の時期となりました、新たに一人でも多く、お勧めをお願い致します。

Koran dankon